

# 「旧雄勝町の復興まちづくりのプロセスで何が起きていたのか」

雄勝町の雄勝地区を考える会 阿部晃成

1

## 0. 本日のもくじ

1. 自己紹介  
発表者の雄勝町の復興に対する評価
2. 写真とデータから見る  
雄勝町の東日本大震災により被害、10年後の現状
3. 復興のプロセスと主な問題
4. 復興プロセスの問題点
5. 終わりに 住民とはだれか？

2

## 1. 自己紹介

- 年齢33歳（震災当時22歳）
  - 当時は実家の手伝い、震災で雄勝湾を一晚漂流
- 雄勝地区震災復興まちづくり協議会の公募委員
  - 被災者自身が自分の復興を考える住民組織  
雄勝町の雄勝地区を考える会 事務局
- 地元雄勝町での漁業・林業での社会起業 → 失敗
  - 現在 慶應義塾大学大学院 修士課程  
社会起業を学びつつ、復興とは何かを研究中
  - 東北大学 課外・ボランティア活動支援センター 学術研究員を経て  
宮城大学 特任助教

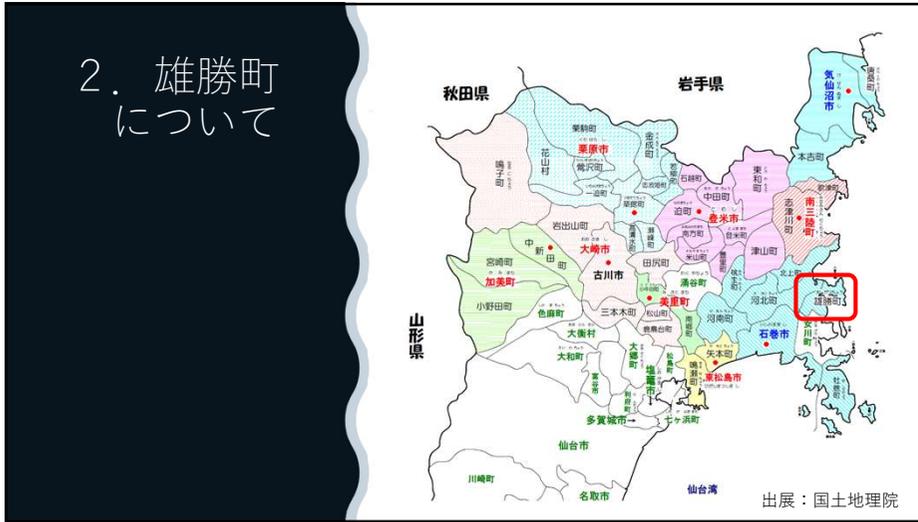
3

## 1. 発表者の復興に対する評価

- 雄勝町の東日本大震災からの**復興は大失敗**  
ただし、人口や世帯数が減少したからではない
- 雄勝町を震災前後を問わず離れた人々の状態と扱い  
震災によって内陸移転した人々の健康・メンタルヘルスの悪化  
（東北大学・辻ら2018）
- 復興プロセスにおける住民排除・自治排除の仕組みが継続
- 排除の仕組みを変える方法が非常に難しい

**震災復興失敗がこれからも続く**

4



5

## 2. 雄勝町の統治と自治の変遷

時代	事象	名称	時々の課題
江戸	代官設置	十五浜	
明治22年 (1888年)	市政・町村制	十五浜村	生活インフラの整備 道路・水道・漁港・病院…
昭和16年 (1941年)	昭和の大合併	雄勝町	生活インフラの整備・維持 小中学校統廃合問題
平成16年 (2005年)	平成の大合併	石巻市雄勝町	生活インフラの維持 小中学校統廃合問題、住民バス

6



7



8



9



10



11



12



13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23

## 2. 東日本大震災による被害

世帯数	人口	高齢化率(H22.3)
1,637世帯	4,300人	39.0%

死者+死亡認定	行方不明+関連死	犠牲者計
156	70+17	243名(5.6%)

全壊・流失	大規模半壊	半壊	一部損壊	計
1,304(79.7%)	19(1.2%)	77(4.7%)	67(4.1%)	1,467(89.6%)

総合支所・病院・小中学校・商店・銀行・郵便局・漁港・・・  
すべて全壊・流出

24

## 2. 東日本大震災による被害

	死者+死亡認定	行方不明+関連死	犠牲者計
雄勝町	156	70+17	243名(5.6%)
女川町	569+257	1	827名(8.3%)

	世帯数	人口	高齢化率(H22.3)
雄勝町	1,637世帯	4,300人	39.0%
女川町	4,411世帯	10,014人	31.6%

	全壊・流失	大規模半壊	半壊	一部損壊	計
雄勝町	1,304(79.7%)	19(1.2%)	77(4.7%)	67(4.1%)	1,467(89.6%)
女川町	2,924(66.3%)	149(3.4%)	200(4.5%)	661(15.0%)	3,934(89.2%)

25



26



27



28



29



30



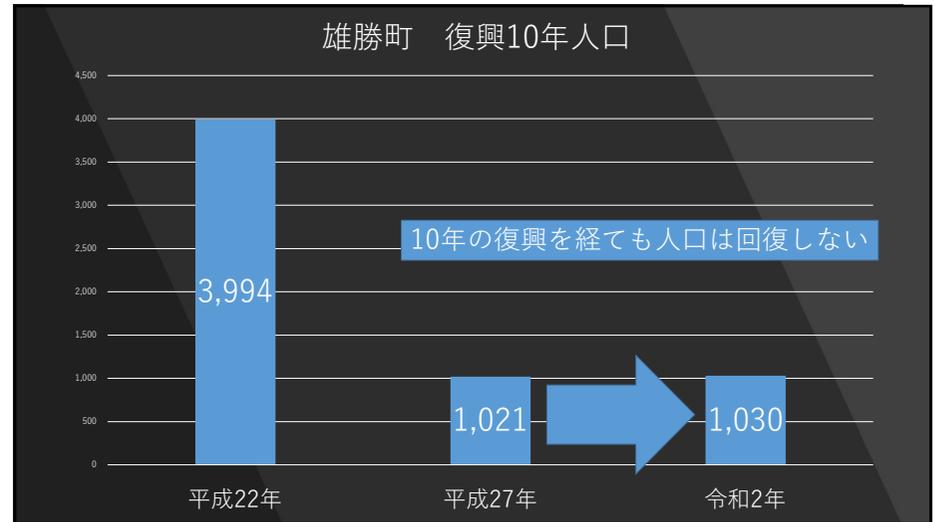
31



32



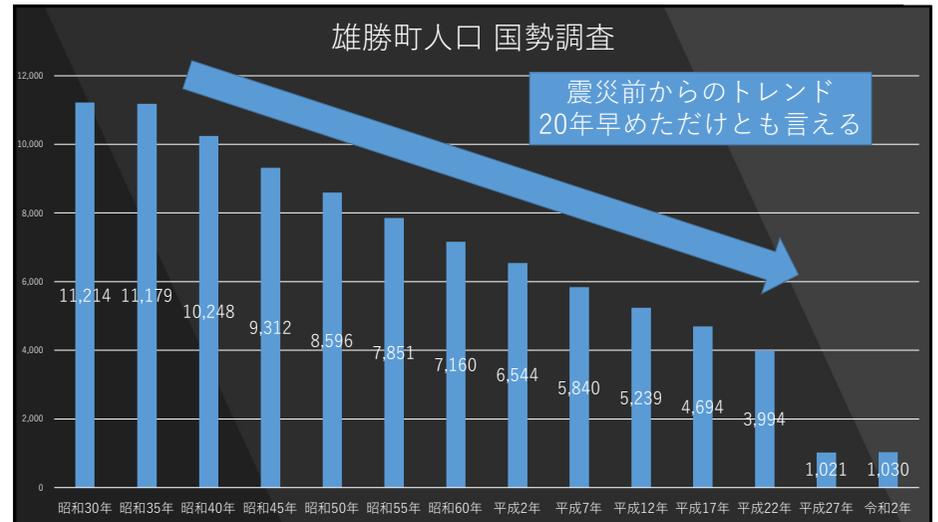
33



34



35



36

## 2. データから見る雄勝町・まとめ

- 8割の世帯が全壊・流出となる壊滅的な被害
- 一つの町としての機能も壊滅的な被害
- 復興事業（高台移転+L1防潮堤）により、空間的な質の変化
- 高台移転による住宅再建が進むも、人口は1/4程度と激減
- 高齢化・単身化も進んでいる
- 半世紀前からの少子高齢化のトレンドをなぞっているとも言える
- 人口・世帯数・高齢化率といった指標で“復興”の成否を決めるか？

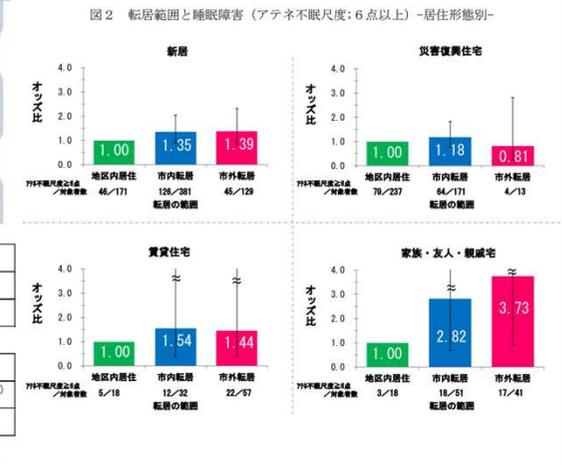
37

## 2. 町外転居の現状

被災後の転居範囲と健康影響についての検討-2018年調査結果  
研究分担者 辻 一郎 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野・教授

図1 解析対象者

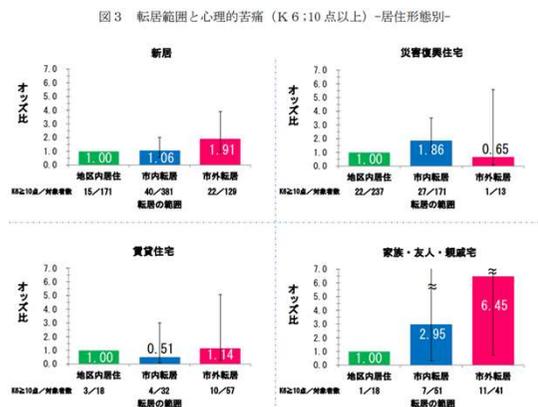
石巻市雄勝・牡鹿地区第14期調査回答者	
2,238名	雄勝地区 : 1,184名
	牡鹿地区 : 1,054名
1	
居住地域	
(雄勝・牡鹿地区内居住) 地区内居住者	(石巻市内転居) 市内転居者
1,149名	817名
	(石巻市外転居) 市外転居者
	272名
解析対象者 2,238名	



38

## 2. 町外転居の現状

「地区内居住者」群と比べ、「市内転居者」群および「市外転居者」群は、主観的健康感が良くない、睡眠障害、心理的苦痛となるリスクが高いことが示された。



39

## 1. 発表者の復興に対する評価

- 雄勝町の東日本大震災からの復興は大失敗
- ただし、人口や世帯数が減少したからではない
- 雄勝町を震災前後を問わず離れた人々の状態と扱い
- 震災によって内陸移転した人々の健康・メンタルヘルスの悪化 (東北大学・辻ら2018)

- 復興プロセスにおける住民排除・自治排除の仕組みが継続
- 排除の仕組みを変える方法が非常に難しい

震災復興失敗がこれからも続く

40

# 1. 発表者の復興に対する評価

- 雄勝町の東日本大震災からの**復興は大失敗**  
ただし、人口や世帯数が減少したからではない
- 雄勝町を震災前後を問わず離れた人々の状態と扱い  
震災によって内陸移転した人々の健康・メンタルヘルスの悪化  
(東北大学・辻ら2018)

- 復興プロセスにおける住民排除・自治排除の仕組みが継続
- 排除の仕組みを変える方法が非常に難しい

**震災復興失敗がこれからも続く**

41

# 3. 雄勝町の復興プロセス

2011年5月 雄勝地区震災復興まちづくり協議会 結成  
問題1：住宅再建 現地再建と高台移転

12月 住民組織 雄勝町の雄勝地区を考える会

2012年8月 まち協から、考える会メンバー除名される

9月 各自治会の高台移転意思決定

12月 災害危険区域指定

2013年夏？ 問題2：防潮堤 原形復旧とL1防潮堤

2014年夏 持続可能な雄勝をつくる住民の会

2016年夏？ まち協から、つくる会メンバー除名される

42

2011年5月

雄勝地区震災復興まちづくり協議会  
アンケート実施

43

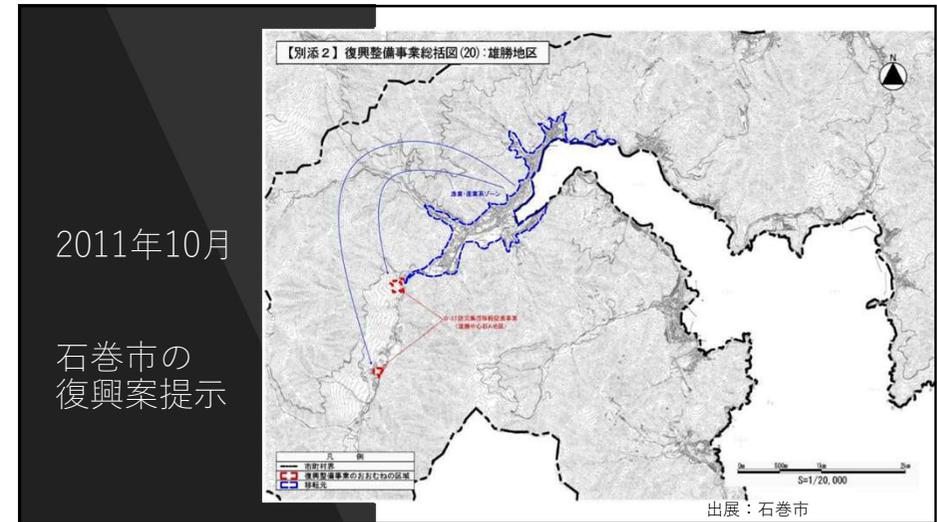
2011年7月末

雄勝まち協から  
石巻市へ  
要望書提出

44



45



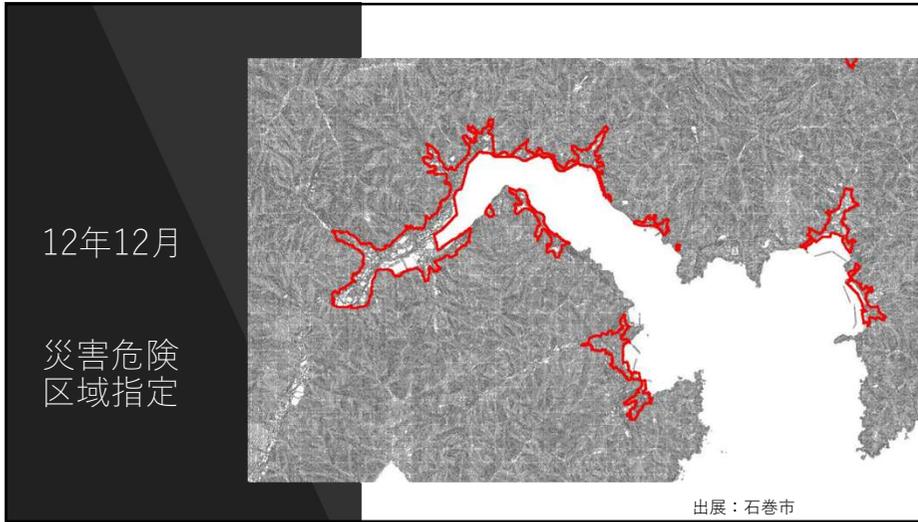
46



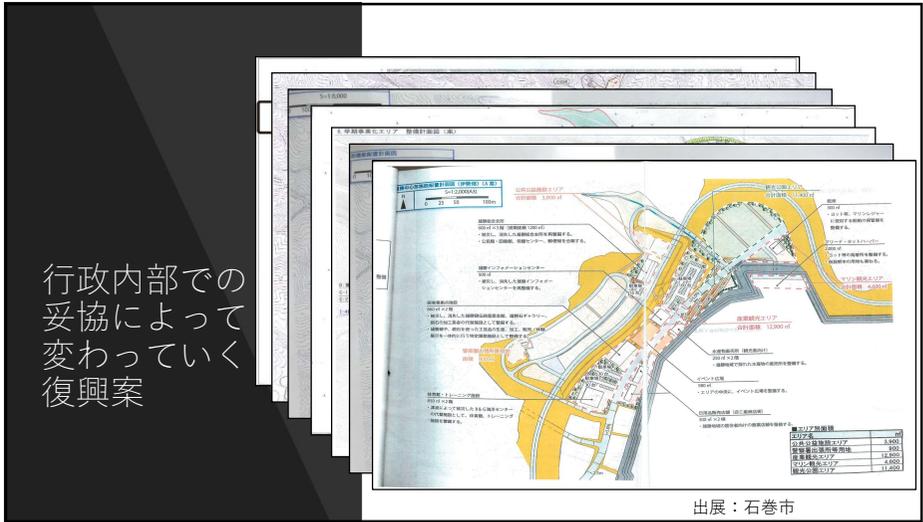
47



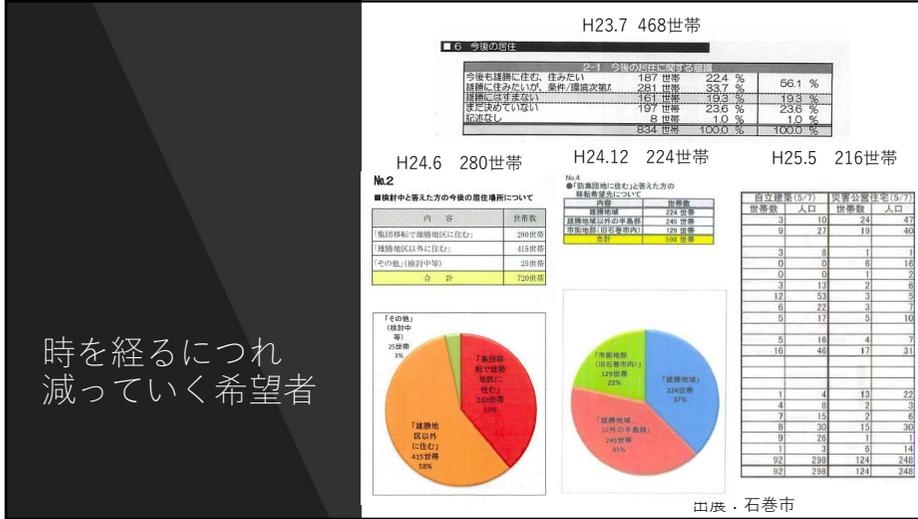
48



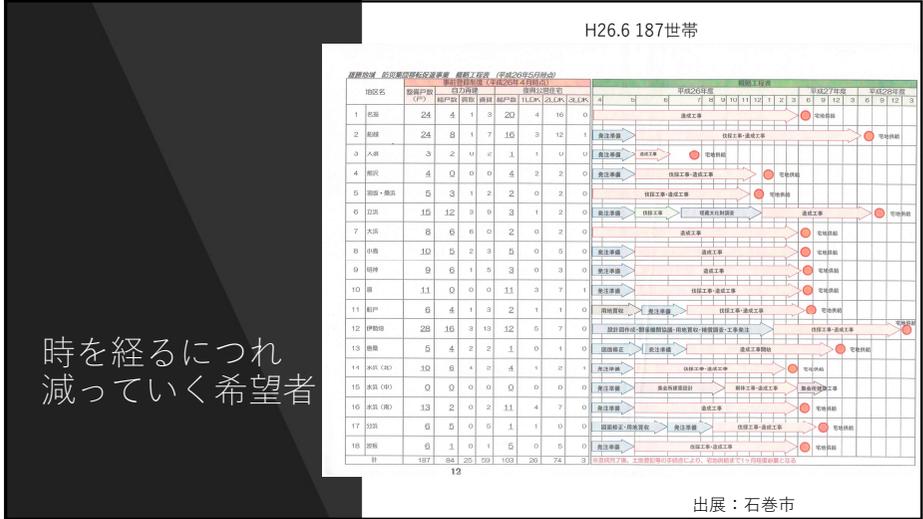
49



50



51



52



53

#### 4. 高台移転の問題点

- 物理的分離  
てんでばらばらに移動、集落コミュニティの解体
- 階層的分離  
資金的余裕のある世帯による自力再建  
余裕のない世帯は復興事業待ちで分離
- 精神的分離  
残った・戻った人から出ていった人たちへ裏切り者の声

54

### 3. 雄勝町の復興プロセス

- |         |  |
|---------|--|
| 2011年5月 | 雄勝地区震災復興まちづくり協議会 結成                      |
| 12月     | 問題1：住宅再建 現地再建と高台移転<br>住民組織 雄勝町の雄勝地区を考える会 |
| 2012年8月 | まち協から、考える会メンバー除名される                      |
| 9月      | 各自治会の高台移転意思決定                            |
| 12月     | 災害危険区域指定                                 |
| 2013年夏? | 問題2：防潮堤 原形復旧とL1防潮堤                       |
| 2014年夏  | 持続可能な雄勝をつくる住民の会                          |
| 2016年夏? | まち協から、つくる会メンバー除名される                      |

55

### 3. 雄勝町の復興プロセス

- |         |  |
|---------|--|
| 2011年5月 | 雄勝地区震災復興まちづくり協議会 結成                      |
| 12月     | 問題1：住宅再建 現地再建と高台移転<br>住民組織 雄勝町の雄勝地区を考える会 |
| 2012年8月 | まち協から、考える会メンバー除名される                      |
| 9月      | 各自治会の高台移転意思決定                            |
| 12月     | 災害危険区域指定                                 |
| 2013年夏? | 問題2：防潮堤 原形復旧とL1防潮堤                       |
| 2014年夏  | 持続可能な雄勝をつくる住民の会                          |
| 2016年夏? | まち協から、つくる会メンバー除名される                      |

56

現地再建・高台移転問題後  
巨大防潮堤問題  
後遺症  
協同できない

出展：河北新報

57

### 3. 雄勝町の復興プロセス まとめ

- 最後2ヶ月でまち協結成 非常に早い復興への動き  
→ 意志決定の不在・漂流
- 現地再建・高台移転問題  
→ 高台移転のみによる住宅再建  
多くの被災者が雄勝町から転出
- 巨大防潮堤問題  
→ 漁港再整備を背景にした集落の説得+原形復旧は全会一致必要  
巨大防潮堤建設 住民1名が抗議で転出

58

### 4. 復興プロセスの問題 — 住民排除 —

2011年5月	雄勝地区震災復興まちづくり協議会	結成
12月	問題1：住宅再建 現地再建と高台移転	結成
2012年8月	住民組織 雄勝町の雄勝地区を考える会	結成
8月	まち協から、考える会メンバー除名される	排除
9月	各自治会の高台移転意思決定	排除
12月	災害危険区域指定	排除
2013年夏?	問題2：防潮堤 原形復旧とL1防潮堤	結成
2014年夏	持続可能な雄勝をつくる住民の会	結成
2016年夏?	まち協から、つくる会メンバー除名される	排除

59

### 再掲2. 雄勝町の統治と自治の変遷

時代	事象	名称	時々の課題
江戸	代官設置	十五浜	
明治22年 (1888年)	市政・町村制	十五浜村	生活インフラの整備 道路・水道・漁港・病院...
昭和16年 (1941年)	昭和の大合併	雄勝町	生活インフラの整備・維持 小中学校統廃合問題
平成16年 (2005年)	平成の大合併	石巻市雄勝町	生活インフラの維持 小中学校統廃合問題、住民バス

60

## 4. 合併前の統治・自治構造

統治	雄勝町役場 職員数：133名	宮城県の各部署	国の各省庁
自治	地区会町会 各地区会長：15名	地区会	地区住民
自治	町長・町議会 1名+12名	様々な町民	地縁・血縁・知縁・職縁・宗教縁

61

## 4. 震災直前の統治・自治構造

統治	石巻市本庁 雄勝町役場職員数：41名	宮城県の各部署	国の各省庁
自治	地区会町会 各地区会長：15名	地区会	地区住民
自治	(市長)・市議会 町中1名+半島1名+出身0.5名	様々な町民	地縁・血縁・知縁・職縁・宗教縁

62

## 4. 震災後の統治・自治構造

統治	石巻市本庁 雄勝町役場職員数：？名	宮城県の各部署	国の各省庁
自治	地区会町会 各地区会長：15名？	地区会	地区住民
自治	(市長)・市議会 町中0~1名+半島1名	様々な町民	地縁・血縁・知縁・職縁・宗教縁
？	雄勝地区震災復興 まちづくり協議会 ~35名	地区会長・商工会・介護施設・行政 公募委員 (住民・外部支援者)	

63

## 4. 解決法の不在 問題は現在継続中

- 2011年5月 雄勝地区震災復興まちづくり協議会  
問題1：住宅再建 現地再建と高台移転
- 12月 住民組織 雄勝町の雄勝地区を考える会
- 2012年8月 まち協から、考える会メンバー除名される
- 9月 各自治会の高台移転意思決定
- 12月 災害危険区域指定
- 2013年夏？ 問題2：防潮堤 原形復旧とL1防潮堤
- 2014年夏 持続可能な雄勝をつくる住民の会
- 2016年夏？ まち協から、つくる会メンバー除名される

結成

結成

排除

結成

排除

**学識・メディアなど外部の存在**  
→決して密室で行われた訳ではない

64

## 5. 住民とはだれか？ 災害が壊すもの

現住民	関わる 他出子	関わらない 他出子（出身者）	地縁・血縁 を有するもの	雄勝を 知る人	雄勝を 知らない人	
犠牲者	現住民	関わる 他出子	関わらない 他出子（出身者）	地縁・血縁 を有するもの	雄勝を 知る人	雄勝を 知らない人

65

## 5. 住民とはだれか？ 災害が壊すもの

現住民	関わる 他出子	関わらない 他出子（出身者）	地縁・血縁 を有するもの	雄勝を 知る人	雄勝を 知らない人	
犠牲者	現住民	関わる 他出子	関わらない 他出子（出身者）	地縁・血縁 を有するもの	雄勝を 知る人	雄勝を 知らない人

66